

**2023年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修
実践編『ELNEC-J 高齢者カリキュラム指導者養成プログラム』アンケート集計結果報告書**

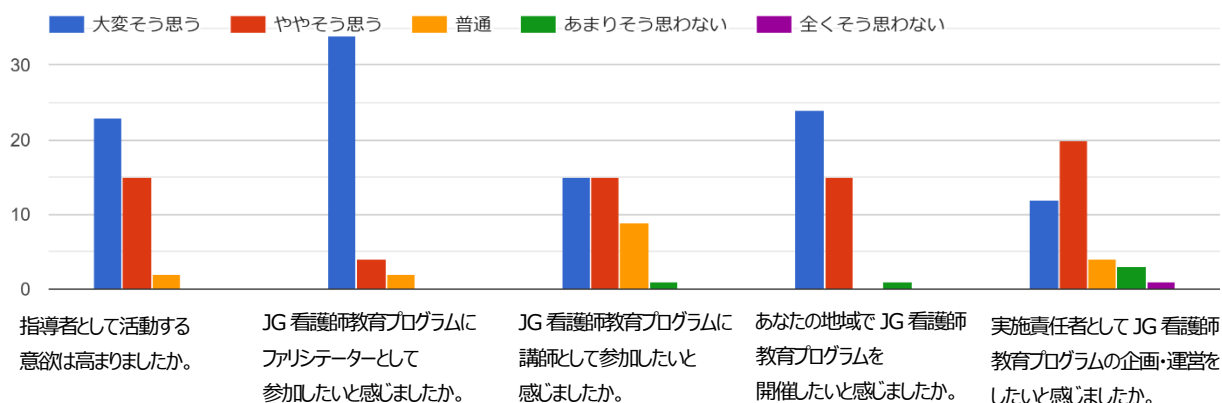
f

- 開催日 2023年9月30日(土)、10月1日(日)
- 場所 東邦大学 大森キャンパス(看護学部)
- 受講者 41名 アンケート回答者 40名(回答率 97.6%)

| 年齢 | 性別 | 所属 | 資格認定について(複数回答可) |
|---------|--------|-----------|-----------------|
| 30代 5名 | 女性 37名 | 病院 33名 | 専門看護師 21名 |
| 40代 20名 | 男性 3名 | 施設・事業所 2名 | 認定看護師 17名 |
| 50代 13名 | | 教育機関 5名 | 認定看護管理者 1名 |
| 60代 2名 | | | JANPU - NP 1名 |

- ・看護師経験年数 平均 22.03±5.91年(最短9年、最長31年)
- ・高齢者ケアに携わった経験年数 平均 18.33±5.64年(最短8年、最長30年)

ELNEC-JG 指導者として



感想やご意見をお書きください。

- ・ 講師の体験や意図的な講義が参加者の心をつかむのだと実感できました。
- ・ 自分が想像していた以上に各スライドに意味が込められていると知りました。それを読み込みたいと思います。講師の方々の話し方なども参考になりました。
- ・ 1日で学ぶには盛りだくさんでしたが、通して学ぶことで、このような体系的に学ぶことは高齢者のエンドオブライフを支えるものとして必要と思いました。素晴らしい教材を作り上げてくださったことに本当に感嘆の思いがしました。是非多くの人にこのプログラムを受講してもらえたらなと思いました。
- ・ 座学で長いなと思ってましたが内容のボリュームが多く、あっという間に1日が終わりました。ELNEC-JGの振り返りにもなりましたが、実際に指導者になって講義ができるのか不安です。今回の貴重な機会にたくさん吸収していかないとと思いました。

- ・スピーディな中でも、学び直しの時間にもなりました。指導者としての姿勢や工夫も体験しながら聴講することができました。今後自分が指導者として研修を運営できるだろうかという不安も募るところです。
- ・自身の受講時を振り返りもしながら、指導者の方がどのような点に注意しながら指導されていたのか、具体的にわかりやすかった。
- ・参加者の理解を深める、実践するための意欲を高めるために必要な点などを知ることができた。また、効果的に伝えるための教育方法についても知ることができ、今後教育場面でも活用できる知識を得ることができた。加えて、ELNEC-JGが質を担保するために、たくさんの工夫や努力がなされていることを感じた。
- ・昨年、教育プログラムを受講した時のことを想起しながら今回受講し、指導者の方々がどのモジュールも時間配分も全て意図して実施されていることがよくわかりました。
- ・一つ一つの全てのことに意図や意味があり、緻密に研修設計がなされているということが分かり、大変驚きました。受講したときにとっても満足感があり、いまでもテキストにかえり実践をして使わせていただいている理由がここにあるのかと感じました。講師の方々も今でも悩みます、迷いますと話されているのが印象的で、分かったつもりになってないかと常に自分に問いかけることが必要であると感じました。自分自身の姿勢や態度を振り返り、日々の実践から見直していかなければいけないと感じました。
- ・どのモジュールもそれぞれの目的が明確であり、1つ1つしっかり理解しなければいけないと感じた。講師の方々時間がかけて準備して臨まれていることが強く伝わってきた。
- ・自分が運営する方で、開催するならどのようにしたら良いのか、意識して聴くことができたと思う。
- ・スライドや講義や資料や教育方法全てに綿密な分析がされているということに改めて感じました。
- ・構成の視点から講義を振り返ることで、エンドオブライフケアについて改めて学びを深める機会となりました。また、効果的な講義を実践していく上での構成の考え方について、思考の仕方、方法、自身の姿勢等、具体的に学ぶ機会となりました。
- ・研修内容の組み立てやキーメッセージなど、研修プログラムの作成時における要を決めておくことの重要性を理解した。緻密な準備が行われていることがわかり、研修の企画や組み立てについて事前準備の大切さを認識しました

指導者養成プログラムを開催していくにあたり、より充実させるべき点、再検討が必要な点などがございましたら、忌憚なくお書きください。（※誤字と思われる部分を一部修正）

- ・各モジュールのポイントがもっとじっくり学べれば良かったです。2日間では短いと感じる内容でした。
- ・まずは自分自身の指導者としての交渉力なども含めて、スキルアップを目指すためにまずはボランティアから参加して自己研鑽に努めることが必須だと思いました。またネットワークも狭く、コミュニティもないため積極的にネットワークを広げていくことも大切だと思います。
- ・一点お願いしたい点は、アンケートについてです。セクション毎にアンケートを入力することは有効なのですが、2日間修了しないと送信できないので、途中まで入力しても2日目に消えているといったこともあったようです。可能であれば、1日ごとに送信できるとよいと思いました。

- ・ パワーポイント数枚でも模擬講義をしてみるような演習をして、他者評価をもらえるような場があってもよいかと思いました。それぞれ、研修等で、講師の経験はしていますが、同じ分野の多くの方々に自分の講義に対して意見をもらえる機会はめったにないと思うので、経験してみたいと思いました。
- ・ 実際に指導者養成プログラムに参加し、回答した通り、自分の地域で開催をしたいと思っはいるのですが、不安もたくさんあります。それを解消していくには、ファシリテーターやボランティアとして、プログラムの運営に継続的に携わる機会がないと難しいと感じています。修了者がファシリテーターを経験できる場の情報提供などがあれば、県外であっても参加できればと考えています。ぜひご検討いただければと思います。
- ・ この研修で、参加者の交流がとても大切だと思いました。まだまだ指導者が少ない中、地域差もある中で協力の、協働の大切さを実感しています。もう少しコロナが落ち着いたら1日目にみんなで食事会があってもいいのかなとも思いました。
- ・ これまで、コロナの影響もあり興味があっても組織の内部だけにとどまっていたと振り返りました。自分自身の課題でもありますが、つながる機会がもっと増えるといいなと思います。老年看護学会での交流集会在とても印象的でした。熱い思い、それを伝える力をとても感じました。自分もエネルギーをもらえました。
- ・ 時間の関係上難しいかもしれませんが、教案作成のグループワークのところで、そのスライドはなぜ説明するのか、どのようなフレーズのざわめきをいつどこでいれるのか、それはなぜなのかというような内容をつきつめるグループワークの時間がもう少しもてたら良かったなと感じました。そこはとても大切な部分であると感じたからです。
- ・ 多くの指導者と関われる機会なので厚かましいですが、全ての指導者と少しでも直接助言を頂ければありがたいと思いました。
- ・ 今回の研修内容で良いと思う。後は、ボランティアをしながら学びを深めていくしかないと思う。
- ・ もう1日研修時間が確保できたなら、より深く学べ、実践的な振り返りができる時間が確保できるように思いました。資料がファイルされ、タグで分けてあり良かったのですが、さらにページ数を書いてあると、探しやすかったです。
- ・ 今後、指導者研修修了生の集まりがあると実際にどのように活動されているのかがわかって参考になりますし、モチベーションも上がると思います。

